

柏崎市総合計画審議会・同分科会合同会議 概要

1 日 時 令和3（2021）年1月22日（金） 午後1時30分から午後3時30分まで

2 会 場 柏崎市産業文化会館 大ホール

3 出席者

- ・総合計画審議会及び同分科会委員、庁内策定本部 別紙一覧のとおり
- ・事務局 課長、課長代理、企画係員4名

4 概 要

(1) 柏崎市総合計画審議会・同分科会合同会議

- ・開会（総合企画部長）
- ・市長挨拶
- ・人事発令通知書交付
市長から委員を代表して柏崎市刈羽郡医師会 相田浩氏に人事発令通知書を交付（他の委員は机上配布）
- ・委員紹介
委員名簿の配布による
- ・第五次総合計画の策定にあたって

① 市長講話

概要は次のとおり（講演の詳細については、別添「市長講話 趣旨」参照）

- ・柏崎市は、3年ほど前から元号と西暦を併記している。それは、人口8万2千人の自治体が、どうしても世界とつながらざるを得ない状況であり、「世界の中で」という感覚が必要なためである。私は、元号・伝統・歴史を非常に大切にしたい人間であるが、全国1754の地方自治体で唯一、柏崎市は元号と西暦を併記している。
- ・（柏崎市が世界とどうつながっているかという話を具体的に申し上げます）昨日から本日にかけて、アメリカ合衆国の大統領就任式があった。今までトランプ氏はパリ協定等をはじめ、WHO、環境問題、そして地球温暖化などというものには、否定的な立場であった。しかし、バイデン大統領となり、環境問題重視へのシフトが明確となり、車大国であるアメリカ、ヨーロッパ及び中国はEVへのシフトが非常に強まってきた。そして、その影響は柏崎の産業に及んでいる。想像している以上に、世の中の動きがかなりのスピードで進み、そこに日本がついていかなければならない。日本がその流れについていくときに、柏崎はどのように産業を組み立てていくのかということである。
- ・今回の大雪の際に、防災無線を流した。最初は「大雪です。御迷惑をかけています。申し訳ありません。」と放送した。2回目の放送時には、「事業者の皆さんも体力の限界です。」「生活路線、除雪が間に合いません。」と正直に申し上げた。これは、行政としては、ある意味恥ずかしいことである。しかし、先日、柏崎市内で一番大きな町内会である松波町内会長からお褒めの言葉をいただいた。市役所にかけても電話が繋がらないことから、町内会やコミュニティの事務所に、苦情の電話が鳴りやまなかった。しかし、2回目の防災無線が放送されてからは、1本も苦情の電話がかかって来なかったというお話であった。市民の皆さんに「すみません、できません。業者の方々も体力の限界です。」と正直にお伝えしたことについて、評価していただいたのだと思っている。

- ・先日、鶴川と野田のコミュニティ統合の調印式を行った。鶴川の関会長は、コミュニティがなくなってしまう切々たる思いを語られ、野田の力石会長は、鶴川の方々の思いを共有するという話をされた。時代が早く動く中で、人の気持ち、思いというものが生きていと実感した素晴らしいひと時であった。コミュニティの統合に関しては、前市長の計画を実際に引き継いで進めているのは私であり、基本的に私の責任である。しかし、そういった中で鶴川の方々の思い、受け入れる野田の人々の思いを知った時にありがたいなと思った。
- ・皆様方には、是非、柏崎が担ってきた伝統・歴史、地域性といったものを大事にさせていただきながら、しかし、そこにとどまることのない新しいものを見出していただきたい。そのために、なるべく若い方々に御参集いただいた。
- ・柏崎青年会議所の方々が新年の挨拶に来られた際には、「皆さんはSNS等を使っていろいろ意見が言える世代である。しかし、皆さんには批判する立場ではなく、批判を受ける側の立場となり、責任を担う立場であっていただきたい。」と申し上げた。
- ・個人、公、社会、会社とそれぞれが抱く責任といったものを自覚した上で、役割分担をしながら、少しでも、柏崎が安心でき、安全で豊かなまちになるよう、計画策定にお力添えをお願いしたい。柏崎の市勢要覧に「保守、進取」と書かせていただいた。「保守」とは政治のことではなく「伝統や歴史を保ち守る」という意味である。しかし、そこにとどまらず、新しいものを進んで取っていく。それこそが今までの柏崎の歴史であり、これから柏崎が進む歴史であると確信している。新しい歴史をつくる皆さんは、ストーリーテラーであり脚本家である。

② 計画策定の基本的な方針等

別添「柏崎市第五次総合計画後期基本計画の策定にあたって」により企画政策課長が説明

③ 質疑応答

「② 計画策定の基本的な方針等」に関して、次のとおり質疑・応答があった。

発言者	内 容
委 員	学生ワークショップを実施したということだが、結果はまとまっているか。若い世代が、健康についてどのような考えを持っているのか、その辺りの話があったのならばお聞きしたい。
事 務 局	ワークショップは、昨年度小学生から大学生までを対象に行った「かしわざき住みたい度調査」の結果を基にテーマを絞って実施した。昨日実施し、これからまとめていくので、まとまったら皆さまにも情報共有させていただく。
委 員	市民アンケートの結果において、(スライド23ページの)現在の満足度が低く今後の重要度が高い項目は、市民ニーズの高い項目だということで、「医療機関や医療体制の充実」がある。一方、(スライド21ページの)アンケート回答者の属性を見ると、60歳代・70歳以上の割合が高く、医療を必要とする割合も高くなることから、若い世代のニーズが同様であるかは分からないのではないかと。
事 務 局	おっしゃるとおりである。本日は、計画策定全般の話としてお伝えしたが、年代別や男女別など、具体的な調査結果もお示す中で、委員の皆さまの御意見をいただきながら、計画策定を進めていきたい。

・閉会（総合企画部長）

(2) 第1回 総合計画審議会分科会

合同会議終了後、各分科会を行い、正副会長の互選及び次回開催日を次のとおり決定した。

なお、分科会長は審議会委員を兼ねるため、引き続き審議会へ出席いただいた。

分科会名	会 長	副会長	次回開催日時
防災・生活・環境分科会	岡田 和久	根本 久美子	3月25日（木）13:30～
産業・雇用分科会	吉田 匡慶	片岡 哲雄	3月22日（月）13:30～
健康・福祉分科会	竹井 みどり	青木 健	3月23日（火）16:00～
教育・スポーツ分科会	三嶋 崇史	笹川 陽介	3月25日（木）13:30～
魅力・文化分科会	霜田 真紀子	飯塚 政雄	3月22日（月）18:30～
自治経営分科会	大石 友子	間島 博英	3月26日（金）13:30～

※敬称略

(3) 第1回 総合計画審議会

- ・開会（総合企画部長）
- ・委員顔合わせ（自己紹介）
- ・正・副会長の互選

互選により、次のとおり決定した。

会 長	樋口 秀（新潟工科大学教授）
副会長	三宮 真美（三宮テント店）

- ・諮問

市長から樋口会長に対して、第五次総合計画後期基本計画の策定について諮問書による諮問を行った。

- ・閉会（副市長）